

# \* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) \*

令和8年第5週（1月26日～2月1日）



## インフルエンザがやや増加しました

今週の報告数は17人と、先週の16人と比較しやや増加しました。型別ではA型が9人、B型が8人と、B型の報告が先週よりも増えています。豊肥管内の定点あたりの報告数も10.08人と、先週の3.00人から増加し、流行発生注意報の開始基準値を超えました。型別では、B型の割合が74%と多くなっています。大分県全体の定点あたり報告数は52.48名となり、先週の28.90名から増加し、引き続き流行発生警報レベルとなっています。

## 新型コロナウイルス感染症も増加しました

今週の報告数は8名となり、先週の3名から増加しました。インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も、様々な年代から報告があり、感染の広がりが危惧されます。どちらの感染症も基本的な感染対策は同じです。手洗い、咳エチケット、換気を適切に行いましょう。

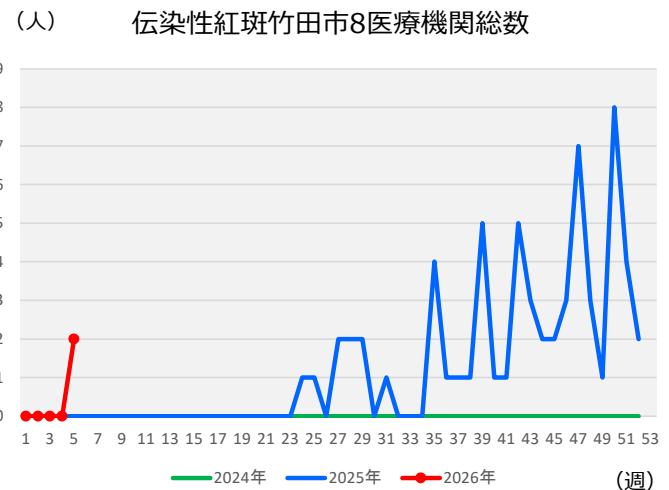
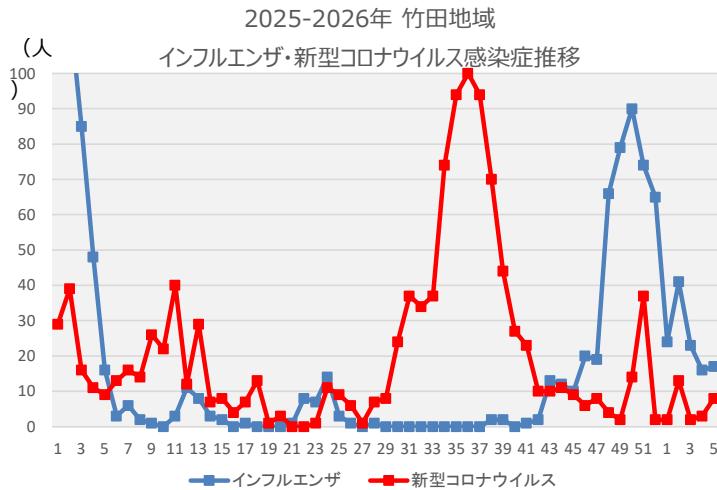
## 伝染性紅斑が報告されました

伝染性紅斑の報告が5週ぶりにありました。2025年第35週から第52週まで18週連続で報告されていましたが、2026年第1週以降は報告がみられていませんでした。伝染性紅斑の潜伏期間は10～20日と長く、潜伏期間の後に発熱や頭痛、咳や鼻水・鼻づまりなど、かぜに似た症状がみられます。この時期はウイルスの排出量が最も多く、感染力が強い状態です。その後、両頬に赤い発しんが出現しますが、この時期はウイルスの排出がほとんどなく、感染力は低下しています。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など、かぜに似た症状がみられる他の感染症も流行しています。しっかり感染対策を行い、予防に努めてください。



### (第5週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（ブル熱）	A群溶血性レンサ球菌炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リソノゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（ふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻疹（全数報告）	風疹（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳				1															
1～3歳				1					1			1							
4～6歳	4												1						
7～9歳																			
10～14歳		3																	
15～19歳	1	2																	
20歳以上	4	3		6					1										
今週	9	8			8				2			2							
	17																		
70歳以上（再掲）				2															
先週	13	3		3		1	1	2											



# 冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

## 正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこります。



③ 指先・爪の間を念入りにこります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。



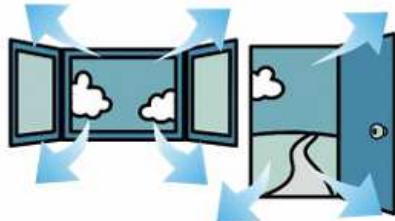
⑦ 石けんを流水で洗い流します。

## せき 3つの咳エチケット

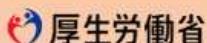


口と鼻をしっかり覆いましょう！

## こまめな換気



開けがちだと、つい窓を開めっぱなし。寒いときは、空気を入れ替えましょう。



厚生労働省 健康・生活衛生局  
感染症対策部 感染症対策課